

太田市立中央小学校

本校のWebページにアクセスしていただき、ありがとうございます。

本校は、東武伊勢崎線の太田駅南口から南東に向かって徒歩5分の市街地にあります。学校周辺には、市役所等の公共施設や各会社の支店、ホテル、マンション、多くの飲食店などがあります。校区の東方には、東日本最大級の国指定史跡の天神山古墳（前方後円墳）、女体山古墳（帆立貝型古墳）など、歴史的景観も日頃から見ることができます。

本校は、昭和52年4月、太田市立九合小学校より分離開校し、今年度で42年目になります。繁華街にある学校ですが、校庭は数多くの桜の木をはじめ緑がとても豊かで、玄関周りや教室の前、花壇などは四季折々の花で彩られ、とてもよい環境にあります。本校は、平成18年度に環境省「学校エコ改修と環境教育事業」の採択校の決定を受けて、平成21年度にエコ改修が完了し、学校ISO14001の取組とあわせ、CO2削減のための改修（外壁面、屋根部の断熱化、ペアガラスへの取替）、自然エネルギーの利用（太陽集熱パネル装置、雨水タンク）など、身近で環境教育ができる施設となりました。

また、九合小学校に設置されていた「言語・難聴の学級」が、昭和54年4月に「ことばの教室」として本校に移管され、以来、太田市内のことばや情緒等に課題を抱えた児童が通級してきています。現在、本校は、市内7校に設置されている通級指導教室のセンター的役割を果たしています。

平成30年度は、児童数358人、15学級でスタートしました。学校の教育目標である「自ら学び、心豊かで、たくましい児童」の育成を目指し、全職員一丸となって取り組んでまいります。児童の健やかな成長のためには、家庭・地域社会との信頼関係の上に立った緊密な連携が不可欠ですので、一層のご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

平成30年4月

太田市立中央小学校 校長 森 貞之